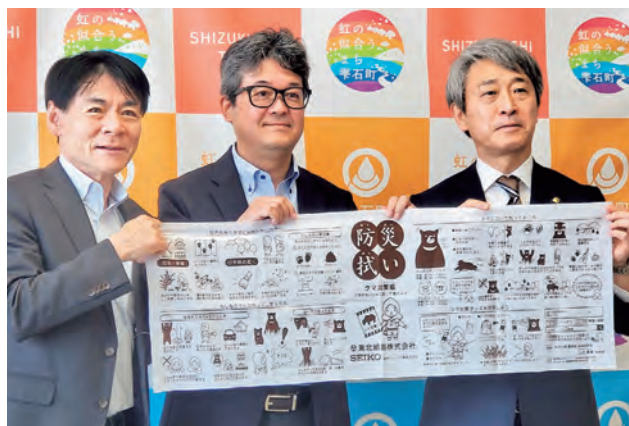


4/25 地域の企業が地域の小学生の命を守る
町内小学校へ防災ぬぐい（クマ対策編）寄贈

東北紙器株式会社（鳥越範夫代表取締役社長）ならびに盛岡セイコー工業株式会社（滝澤勝由代表取締役社長）より、防災ぬぐい（クマ対策編）が町内の小学校へ寄贈され、すべての児童へ配布されました。

この手ぬぐいは、岩手大学農学部の山内貴義准教授が監修し、滝沢市の事業者が制作したもの。地域の企業や団体の協力のもと、県内各地の学校で、未来を担う子どもたちへ「命を守るプレゼント」として届けられています。



▲東北紙器株式会社の鳥越社長(左)と盛岡セイコー工業株式会社の滝澤社長(中央)



▲いざという時に役立つ、クマ対策のポイントがまとめられた手ぬぐい

▲全小学校分 614 枚が寄贈



▲盛りだくさんのイベントが行われた2日間

4/25~4/26 銀河ステーション春まつり開催
しずくいしふるさと文化振興基金助成事業

栗石銀河ステーションを会場に、「春まつり」が開催されました（株式会社航和主催）。

過去最多の飲食ブースをはじめ、ダンスグループや地元バンドのパフォーマンス、ふわふわトランポリンやチャグチャグ馬コ写真撮影会など多彩なイベントを実施。好天に恵まれ暖かな陽気に包まれた2日間、たくさんの家族連れが春の訪れを楽しみました。

5/1 正しく恐れることの大切さ学ぶ
小学校でクマ対応学習会

七ツ森小学校（菅原由香里校長、児童数 92 人）で、クマ対応学習会が行われました。町農林課鳥獣被害対策専門員が、ツキノワグマの生態や遭遇時の対応方法をわかりやすく説明。児童らは真剣な面持ちで学習に臨みました。

6年生の木下颯さんは「クマとの距離感や状況による対応の違いがわかりました。そのときそのときに正しく対応できるようにしたい」と、気を引き締めていました。



▲講師の話に真剣に耳を傾ける児童ら

特集

なないろる便り

人の動き・お知らせ

教育

観光・スポーツ

子育て

Town News

特集

なないうる便り

人の動き・お知らせ

教育

観光・スポーツ

子育て

Town News

5/3 「元祖!しずくいし軽トラ市」開幕 22年目も笑顔と元気を乗せて走り続ける

2005年の開始以来、22年目を迎えた「元祖!しずくいし軽トラ市」(同実行委員会主催)。今年1回目となった5月3日は開会式が行われ、先着300人に配られたクラッカーが一斉に鳴り響き、開幕を盛り上げました。

よしゃれ通りには、荷台いっぱい商品を集めた軽トラック約60台が整列。来場した約6,400人が、新鮮な野菜や山菜、手作りグルメ、クラフト雑貨などの買い物を楽しみました。



▲新鮮な山菜がたくさん並ぶのも軽トラ市ならではの



▲サクラソウ

▲サクラソウを観察する参加者ら

5/9 野生のサクラソウ観察会開催 貴重な生態系と景観を守るため

西山地区のサクラソウ群生地である銀河の森で、第10回栗石「銀河の森」野生サクラソウ観察会が行われました。

沢沿いに自生するサクラソウは今年も可憐な花が満開。参加者は足を止め、じっくりと観察していました。

観察後は西山公民館に会場を移し、講話と交流会を開催。自生地が減少し絶滅が危惧されるサクラソウと、岩手山麓の自然を未来に遺すため、活発に意見を交わしました。

5/13 栗石大火復興祈念碑清掃活動 発生から75年、防火への誓いを新たに刻む

1951年に発生した栗石大火。発生日である5月13日、栗石大火警鐘不忘の会(大村利夫会長)が下町の臨済寺境内南側に建つ祈念碑周辺の清掃を行いました。

清掃には町消防団第1分団の団員らも参加。清掃後は参加者全員で防火の誓いを唱和し、半鐘を打ち鳴らしました。町消防団第1分団の高橋分団長は「自分でつけた火は、最後まで責任を持って消すよう心がけましょう」と呼びかけました。



▲防火への誓いを胸に半鐘を打ち鳴らす参加者



自衛官募集相談員に村田政民さん(男助)を委嘱。地域と自衛隊を結び架け橋として活躍が期待されます。



盛岡中津川ライオンズクラブが栗石川園地の清掃を実施。多くの人で賑わった花見スポットの美化に取り組みました。

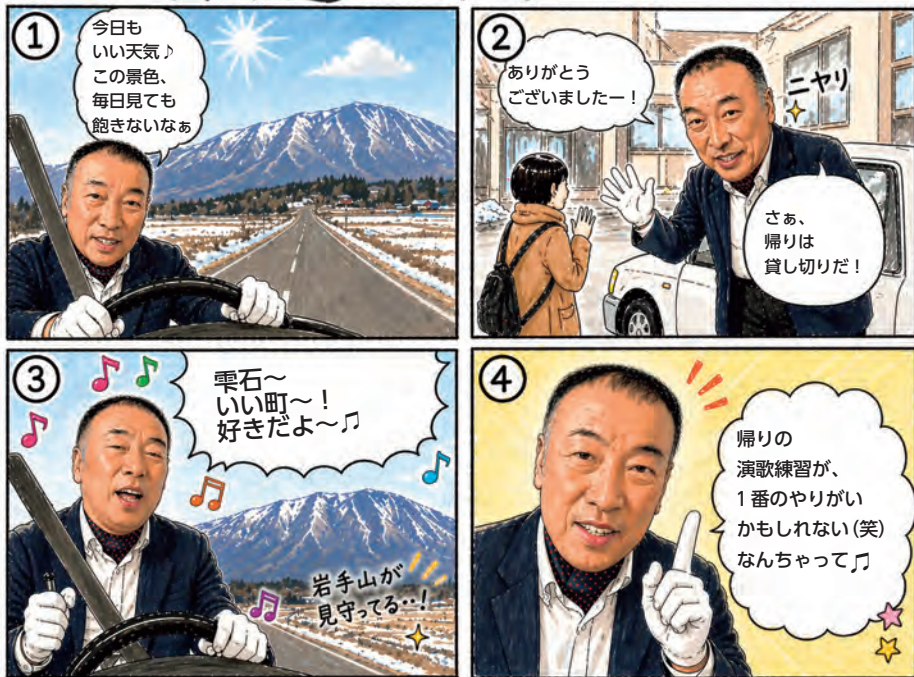


御所小学校の3年生児童14人がヘーゼルナッツの植樹を行いました。ヘーゼルナッツは3~4年で収穫できるそうです。



町を走るあねっこバス。その運転席には、いつも頼もしいドライバーさんがいます。今号から、そんなドライバーさんたちの人柄やエピソードを、4コマ漫画とともにご紹介していきます。2カ月に1回、全6回(予定)。どうぞお付き合いください!

帰り道は、演歌の時間♪



※このイラストは生成 AI により作成しています。

今月の運転手さん

まっちゃん

出身▶西和賀町

現在▶滝沢市在住

ドライバー歴▶54年

あねっこバス歴▶9年目

趣味▶演歌の歌謡大会出場



西和賀生まれのまっちゃんは、吹雪の中を30~40分歩いて通学した経験の持ち主。「あの頃に比べたら雪道は問題ない!」と笑い飛ばす頼もしさで、冬の栗石町を走ります。

「お客さんの優しさは、9年間ずっと変わらない」とまっちゃん。栗石町の人の温かさをいちばん近くで感じているドライバーさんです。

そんなまっちゃん、実は演歌の歌謡大会に出場するほどの本格派。帰り便でお客様がいないときは、こっそり練習しているとか。乗客の皆さんにも、その明るさと話し好きな人柄がじんわり伝わってきます。そして「あねっこバス」の名前も大のお気に入り。「日本でここだけのバスの名前。それが誇りです」。



路線・時刻表



便利なLINE予約はこちら(町民限定)

【予約】

☎予約センター☎692-6323

○受付時間

平日▶8時~17時

土日祝▶8時~16時

【その他のお問い合わせ先】

☎NPO法人しずくいし・いきいき暮らしネットワーク☎691-1800

【あねっこバス出張説明会実施中!】お気軽にお問い合わせください

☎総合政策課政策推進係☎692-6409

あとがき

●先日、本号で取り上げているファミリーマラソンの取材に行ってきました。当日は天気も良く、走っているランナーの皆さまが気持ち良さそうに走っている姿を見て、「自分も走ってみようかな」と思いましたが、実行に移せず「行方は難しい」を感じています。簡単にできる所から運動したいと思いました。(横)

●このあとがきを書いた日、秋田駒ヶ岳の山開きが行われました。広報担当が記念登山に同行したこともあったのですが、不安要素しかない自分は恐れながら辞退。とはいえ、家族での鞍掛山登山が楽しかったので、いつかは挑戦したい気持ちも。まずは基礎体力作りに取り組むところから頑張ろうと思います。(高)

栗石町公式エックス▶@shizukukouhou
防災行政無線が聞き取れなかったときは…
電話応答サービス▶☎019-692-6371をご利用ください。

「検地札」

町歴史民俗資料館の収蔵品をご紹介します!



町歴史民俗資料館
(西安庭 15-39-7、木曜日定休)

検地とは、村の耕地を調査して等級を定め、面積を測量して生産高を査定し、課税の基礎とするもので、栗石郷では豊臣秀吉の指令による総検地が慶長3年(西暦1598年)に行われています。この検地札は、慶応2年(西暦1866年)、南部藩最後の御検地の際に検地場所に立てた木製の札です。検地を受ける際の準備や心得の一つとして、田畑・居屋敷とも地主ごとに必要事項を記入した木札を現地に表示することが指示されました。どうぞご覧ください。

